

## 撮影には学生も参加

**中野** 撮影には、たくさんの方の地元の後、早速ご家族で鳥取旅行をされたとお聞きしました。

**浅田** ガイドブックができる少し前ですが、ちょうど両親が結婚40周年なので、お祝いを兼ねて家族全員で温泉に泊まったり、鳥取砂丘に行つて撮影したりと、楽しい思い出になりました。

**中野** フォトガイドブックには、市民が愛するソウルフードや風景、伝統芸能などが紹介されています。いろいろな工夫が見られますが、人物と一緒に撮っている写真が多いですね。

**浅田** 400人近い市民にモデルとして出ていただいています。地元の人に来てもらうと生の声がよく聞けるんですね。自分が鳥取市をより深く知ることができ、それが写真にも出るといい、直接会って話をたくさん聞きたいと思っていました。地元の人と一緒に作るフォトガイドブックにしたかったので、たくさんモデルを募集し登場していただきました。

**深澤** 市民のみなさんの表情がいなと感じています。

高校生や大学生に協力していただきました。その中の1人、鳥取大学3年生、写真部の元部長、吉田航太さんです。

**吉田** 近くでプロの撮影を見る機会は少ないので、楽しんで過ごさせていただきました。浅田さんは、人を撮るのがうまいので、人を生き生きと撮ることが近くで見られて勉強になりました。

**中野** 実際に撮った写真を何枚か紹介します。まず、鳥取城の掘端にある「ふるさとの歌碑」です。

**深澤** 「ふるさと」の作曲家岡野貞一さんは、鳥取市の出身で、鳥取が誇る音楽家の1人です。生誕130年を記念してお堀端に整備されました。

**浅田** さだまさしさん、島谷ひとみさん、E X I L E の A T S U S H I さん、たくさんの方のミュージシャンがふるさとを歌っていて、音質も良くいい音で聴こえますね。音



新春対談 **すごい！鳥取市** 今年も 魅力 発信！

対談場所：いなばびよんぴよんネット 司会：中野恵理子

昨年10月に発売した鳥取市公式フォトガイドブック「100SUGO! BOOK」。このフォトガイドブックの撮影を担当していただいた写真家浅田政志さんをお迎えし、撮影時のエピソードや鳥取の魅力について、撮影に参加した市民のみなさんと交えて、深澤義彦市長と語っていただきました。

問い合わせ先 本庁舎広報室 ☎ 0857-20-3159 ☎ 0857-20-3056

## フォトガイドブックが完成して

**中野** 新年あけましておめでとうございます。フォトガイドブックが完成して手にしたとき、どんなお気持ちでしたか？

**浅田** 制作に1年以上かけたので、本を手にしたときはあまりにもうれしくてガッツポーズをしました。その日の夜は、本を抱いて寝ましたね。

**深澤** 浅田さんの素敵な写真が満載で、素晴らしいフォトガイドブックに仕上がっていると思いました。

**中野** 昨年の11月には発売を記念した記者発表会が東京で行われました。

**浅田** タレントのGENKINGさんと市長と3人で記者発表を行いました。ありがとうございました。とても楽しい記者発表だったと思います。

**深澤** GENKINGさんの発信力はすごいので、フォトガイドブックが全国に発信されたものと思います。

**中野** 昨年12月5日・6日には、鳥商デパートで写真展を開催しました。

は写真に写りませんが、素晴らしい音色を聴いているところを表現したいため、耳が大きくなったとアピールした写真にしました。

**中野** 次は、青い空がきれいで、おいしそうに岩牡蠣を食べています。

**浅田** 夏こそ食べる岩牡蠣がおいしくて、夏をよよく出したいと思いたいです。買って来た大きな岩牡蠣を高校生に並んで食べてもらっているところを撮ったら、スポーツ飲料を飲んでいそうな写真になりました。

**深澤** これはすごい発想ですね。

**吉田** この岩牡蠣は本当に大きいです。高校生たちはクールに食べていますけど、実は結構必死で食べていましたね。

**浅田** 牡蠣って大人な感じがしますが、みなさん鳥取で小さいころから食べ慣れているんだなと。

**深澤** 夏といえばやはり岩牡蠣ですね。



**浅田** 鳥取市の人にもぜひ写真展を見てもらいたいと思つたので、大変いい機会を与えていただき、いい写真展になったと思います。みなさんがとても興味を持ってくださったのがうれしかったです。

**深澤** 若い人にこの鳥取の魅力を再発見していただき、みなさんと共有して情報発信する、大変素晴らしいことだと思われました。

**中野** フォトガイドブックの制作のため、浅田さんは、おとしの冬から去年の夏まで、およそ20日間鳥取市に滞在、いろいろな場所をまわって撮影されました。その

写真家 **浅田 政志** さん  
1979年三重県生まれ。自身を含めた家族が被写体となった作品をおさめた写真集、『浅田家』(赤々舎刊)が第34回木村伊兵衛写真賞を受賞。日本各地の市井の人々を撮影するプロジェクトにて精力的に活動をしている。著書は『NEW LIFE』(赤々舎刊)、『八戸レビュー』(美術出版社刊)、『南予写真 NANYO』(日本文芸社刊)など。

## おすすめのネタを教えてください

**浅田** 100ネタとも印象深く、それぞれ思い入れがあるんですけど、4つほど紹介させていただきます。

**天然水が蛇口から出て、生活用水として使われている**！

**深澤** 鳥取の魅力の1つ、おいしい水がたくさん湧き出ています。

**浅田** 透明さをよく伝えるために、ワイングラスで飲んでもらったら面白いんじゃないかと思つた。子どもたちに飲んでいただきました。撮影している隣ではお母さんがお米をといでいたり、野菜を洗っていたりと日常の光景も見えました。住んでみたいと思つたくらい、気に入りました。

**海中に落ちた差し歯を見つけれ**るほど透明な海がすごい！

**浅田** 海中に落ちた差し歯を見

